

編 集 後 記

哲学を研究している大学院生が、研究発表の機会をもち、相互の対話と交流を活発にし、お互いの研究を一層進めようという趣旨で、この「哲学論叢」が発刊されて以来、今回で三号目を迎えました。

昨年6月の総会で、修士1回生から博士3回生まで各学年から計7名の編集委員が選ばれ、第二号の領布や第三号の編集にあたってきました。幸い新しい修士課程入学者をはじめひきつづき会員も増え、また先輩をはじめ多くの方々から暖かい御支援をいただいて、この第三号を発行することができました。

今回の論文は、ヘーゲル以降の比較的新しい時代の哲学者を扱ったものが多くなっていますが、論文内容に対する卒直な御批判、御意見を寄せて下さるようお願いいたします。

(M)

昭和51年4月1日発行

発行者 京都大学「哲学論叢」刊行会

京都市左京区吉田本町 京都大学文学部哲学研究室内

印刷者 糺書房

京都市左京区田中大堰町129 (電 781-8925)